



2025年2月12日

各 位

会 社 名 静岡ガス株式会社
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 松本 尚武
(コード番号：9543 東証プライム)
問 合 せ 先 経営戦略本部経営企画部 山崎 純也
経理・財務担当マネジャー
(TEL：054-284-4141)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、当社グループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析・評価した上で、改善に向けた方針や具体的な取り組み等を本日策定しましたのでお知らせします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

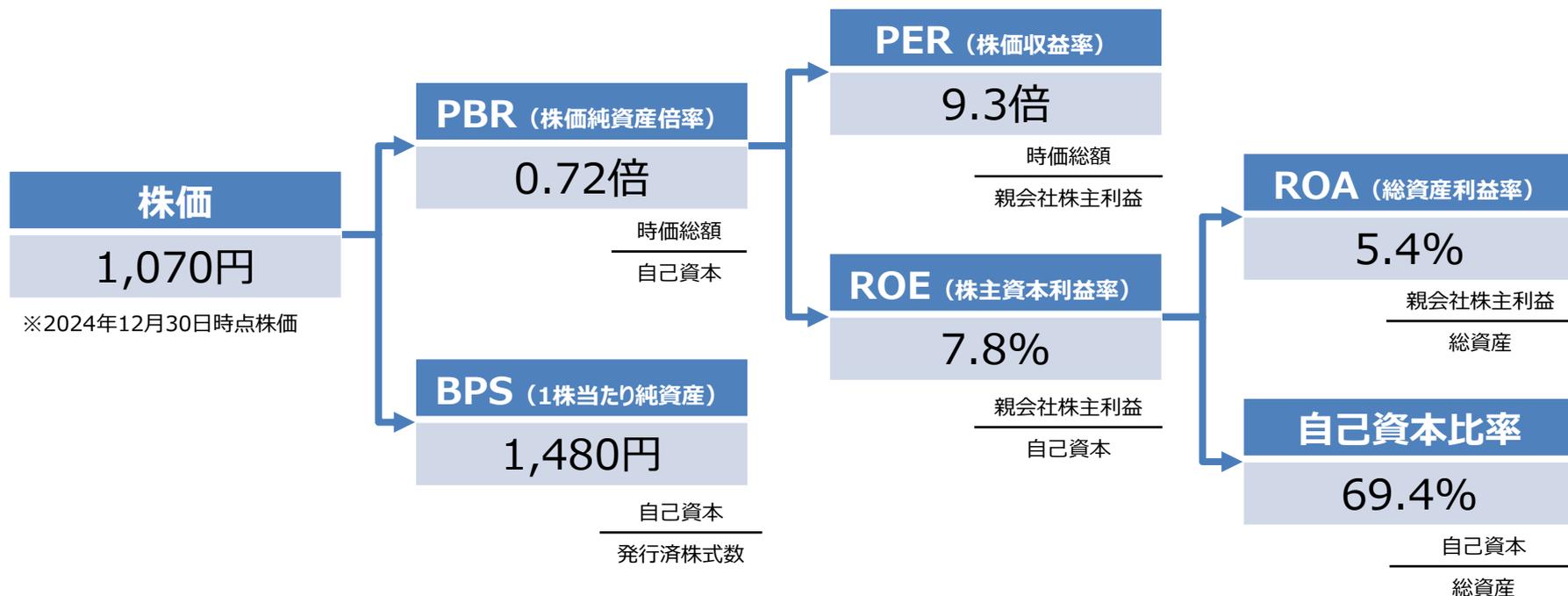
以上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

静岡ガス株式会社

(1) 現状分析

- 当社グループは、エネルギーを中心としたグループ総合力で事業の拡大を着実に推進する一方、PBRは0.72倍と1倍を下回る水準で推移しています。
- PBRを構成する2指標（PER、ROE）について、PERは東証プライムの平均17.0倍(2024年12月)を下回り、ROEは7.8%に留まっており、共に改善に向けて取り組む必要があると捉えています。
- 当社グループの自己資本比率は69.4%と強い財務基盤である一方、言い換えれば財務レバレッジが低い水準にあると認識しています。ROEの向上に向けては、ROAの向上に加えて、当社グループの財務バランスを適正化させていく必要があると捉えています。



※各指標は2024年期連結決算値(2025年2月12日公表)から算出
 ※親会社株主利益=親会社株主に帰属する当期純利益

(2) 企業価値の向上に向けた方向性

- 当社グループは、PBRを改善し、企業価値を向上させるため、効率性・収益性の向上への取り組みを一層進めると共に、市場との対話を充実させ、株主・投資家の皆さまの期待に応えていきます。
- 具体的には、事業領域の拡大を積極的に進め、事業の成長と収益の拡大を図ると共に、投資効率の向上と財務バランスの最適化を進めていくことにより、ROEの向上を図ります。
- また、将来の成長に向けた積極的な投資を着実に実行し、成長戦略を株主・投資家の皆さまにお示しすることで、PERの向上を図ります。

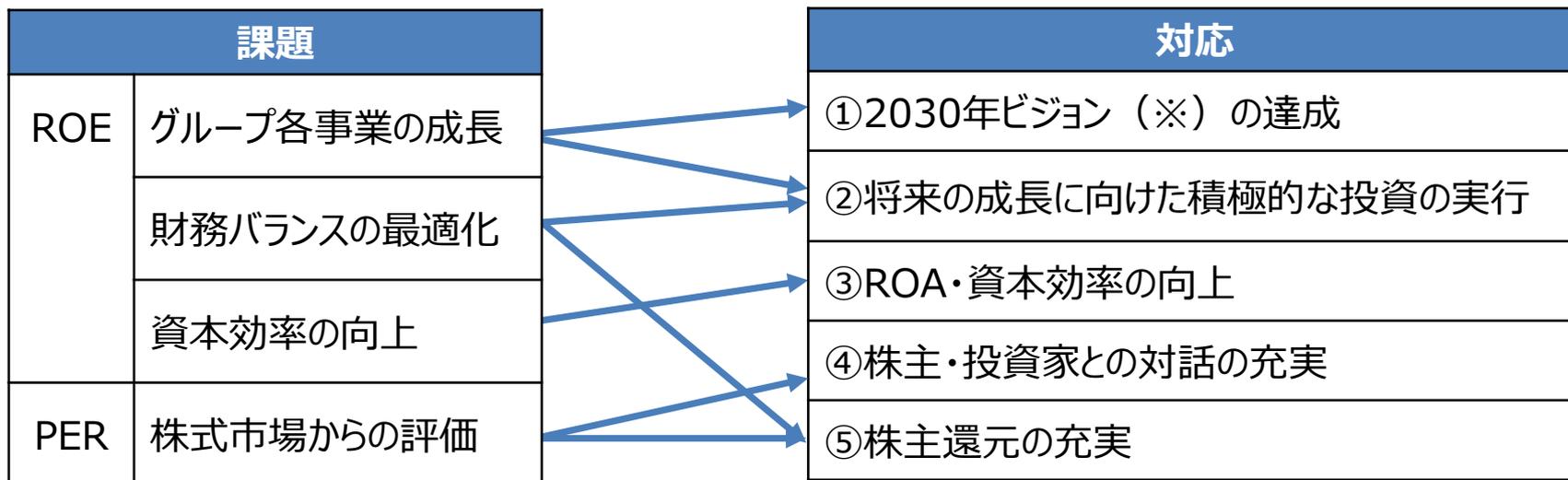
PBR
(株価純資産倍率)

=

ROE
(自己資本利益率)

×

PER
(株価収益率)



※2030年ビジョン：<https://www.shizuokagas.co.jp/about/2030vision/pdf/2030vision.pdf>

(3) 企業価値の向上に向けた取り組み

① 2030年ビジョンの達成

- ・ 事業計画を確実に遂行し、2030年ビジョンに掲げた連結経常利益130億円を早期に達成します。

② 将来の成長に向けた積極的な投資の実行

- ・ 事業領域拡大や成長に向けて積極的な投資を実行し、同時に財務バランスの適正化を図ります。

③ ROA・資本効率の向上

- ・ 事業別のROICを設定し、進捗管理を進め、資本効率や収益性の向上を実現させていきます。
- ・ 政策保有株式の縮減、遊休資産の処分等を進め、売却資金を成長投資へ活用していきます。

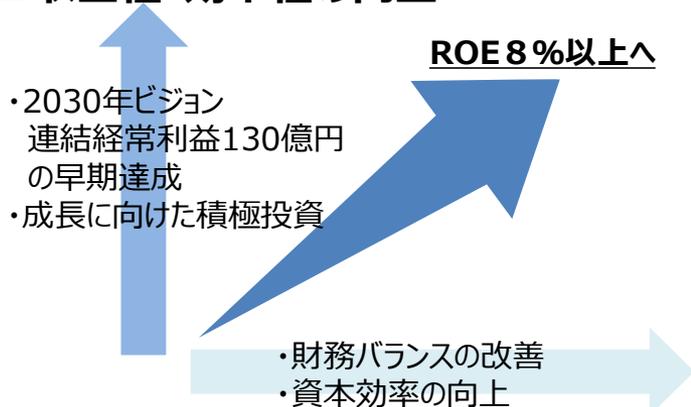
④ 株主・投資家との対話の充実

- ・ 非財務情報を含む積極的な情報発信と対話により、株主・投資家の皆さまからのご意見を経営に活かしていきます。

⑤ 株主還元の充実

- ・ 資本市場からの要請や当社の資本構成を踏まえつつ、配当金などの株主還元を充実させていきます。

■ 収益性・効率性の向上



■ 市場評価の向上

